

「いずみ界限」通信 No.25

旧北国街道いずみ界限を考える会

放流カワニナ ほぼ全滅？

ホタル繁殖へ水溜まり確保の堰設置



泉用水が排雪等の影響で2月5日から通水が止まり、一カ月半以上も水が来なかったため干し上がり、昨年秋にホタルの繁殖地で放流した約1100個のカワニナの稚貝がほぼ全滅しました。ホタルの餌が壊滅状態になり、今年のホタルの飛来は十分に楽しめないかもしれません。金沢市に生産組合や町会を通じて何度か通水を依頼しましたが、

対応してもらえず、3月末まで用水は水なしの状態が続きます。地元ではこのような状態が二度と起きないように3月20日、現地の用水に溜まり水確保の堰（高さ15cm、ベイ槓製）工事を実施、併せてホタルの養殖地のプランターの底上げ整備も行いました。

町づくりのモデルケースに 金沢市の「市民と行政の協働フォーラム2018」は3月18日、金沢歌劇座大集会室で開かれ、旧北国街道いずみ界限を考える会など19団体がまちづくり企画の成果を発表しました。考える会では喜多利男事務局長が昭和40年代の商売屋マップの発行や加賀の千代尼を知る俳句大会、原野で楽しむ野点の会など1年間の活動報告を行い、市民協働推進課から「まちづくりのモデル事業として今後も活発に取り組んでほしい」とエールを贈られました。

